

2023年7月20日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
 代表者名 代 表 取 締 役 白 岩 直 人
 (東証 プライム市場・コード：7172)
 問合せ先 取締役管理本部長 杉 本 健
 (TEL. 03-6550-9307)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月10日に公表いたしました、2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年12月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,870	1,260	540	500	16.56
今回発表予想 (B)	8,900	3,200	2,600	1,700	56.31
増減額 (B-A)	2,030	1,940	2,060	1,200	
増減率(%)	29.5%	154.0%	381.5%	240.0%	
(ご参考) 2022年12月期上期連結実績	12,527	1,501	6,705	5,323	176.32

2023年12月期通期 連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,340	4,000	2,260	2,000	66.25
今回発表予想 (B)	19,300	5,000	3,400	2,400	79.49
増減額 (B-A)	960	1,000	1,140	400	
増減率(%)	5.2%	25.0%	50.4%	20.0%	
(ご参考) 2022年12月期通期連結実績	18,045	1,298	5,897	4,412	146.14

2. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力事業であるオペレーティング・リース事業が、下記2点の要因によって好調に推移したことが寄与し、予想を大幅に上回る見込みとなりました。また、同事業の商品組成が順調に進んでいることを踏まえて、通期業績につきましても、売上高、各段階利益の上方修正を行います。

なお、売上高の当初計画からの増減率が各段階利益の増減率よりも小さくなっております。その背景といたしましては、今期新たに販売開始した、不動産小口化商品の売上計上基準が期初予想の前提と変わったことが要因です。期初予想時点では、不動産小口化商品の販売スキームが確定しておらず、総額売上（物件調達額含めた売上高）となる前提で業績予想を作成しておりました。しかし、その後のスキーム確定に伴い、純額売上（販売額と仕入額の差額を売上高）となりました。

① （オペレーティング・リース事業）好調な商品出資金販売の影響

オペレーティング・リース事業において、下期偏重としていた商品出資金販売が、期初予想以上に好調に推移いたしました。期初計画では、126億円としていた商品出資金販売額は、343億88百万円の実績となりました。（表1参照）

販売好調の背景といたしましては、以下3つの要因が挙げられます。

1. 投資家の需要が底堅いこと
2. 日本型オペレーティング・リース投資商品（JOL/JOLCO）市場における品薄感があったこと
3. 商品性が顧客ニーズにマッチしたこと

【表1：商品出資金販売額の推移】

（単位：百万円）	期間	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
出資金販売額	上期	43,491	39,390	53,074	23,289	28,541	33,568
	通期	92,394	104,181	79,301	49,475	50,188	80,000 （予想）

組成実績も順調に積み上げ、6月末時点の商品出資金残高は、816億30百万円とコロナ禍以前の水準を確保しております。（表2参照）

【表2：商品出資金残高の推移】

（単位：百万円）	2018年 期末残高	2019年 期末残高	2020年 期末残高	2021年 期末残高	2022年 期末残高	2023年 6月末残高
JIA 連結 商品出資金	51,063	82,372	28,431	20,111	46,587	81,630
Bleriot 社 出資金			1,794	14,654	20,514	32,082
合計 残高	51,063	82,372	30,225	34,765	67,101	113,713

※Bleriot 社とは・・・持分法適用会社 Bleriot Aviation Leasing Designated Activity Company

※Bleriot 社出資金とは・・・持分法適用会社である Bleriot 社が有する、株主からの出資金。

当該出資金は、当社グループによるオペレーティング・リース事業に活用することを目的とした、航空機の取得代金となります。

② （オペレーティング・リース事業）好調なリース付航空機トレーディングの影響

オペレーティング・リース事業の収益の柱は、日本型オペレーティング・リース投資商品（JOL/JOLCO）の小口販売です。今期は、それ以外に、リース付航空機1機単位のトレーディング収益が、大きく寄与いたしました。

前期までにも、トレーディング収益の実績はありましたが、当社グループの強みである中古航空機のオペレーティング・リースアレンジ力を活かせる分野であり、今後もトレーディングによる収益獲得強化を図ってまいります。

【リース付航空機 トレーディング実績の推移】

	2020年 通期	2021年 通期	2022年 通期	2023年 第2四半期
リース付航空機 トレーディング実績	1機	4機	0機	3機

※1機あたりの収益は、物件や為替状況によって変動します。

3. 配当予想について

2023年12月期 期末配当予想につきましては、変更ありません。

(業績予想に関する注意事項)

本資料の業績予想等の記述は、発表時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績や事業環境は、今後様々な要因によって異なる可能性がございます。

本件に関する問合せ先
広報・IR室
TEL：03-6550-9307

以 上